

第9章 生活保護

1 生活保護率の推移 (表1)

本県の保護率（人口千人当たり）は、全国に比べて大幅に低く、その推移は全国と同様に減少傾向を示していたが、平成4年頃から横這いになり、9年から上昇に転じている。

平成29年度の保護率は0.77%となり、前年度（0.77%）と比べると横這いになっている。

全国の平成29年度の保護率は1.68%で、前年度（1.69%）と比べ0.01ポイント下降した。

表1 被保護世帯数・被保護人員・保護率の推移

年次	(各年度月平均)		
	被保護世帯数	被保護人員	保護率 (%)
平成29	12,331	15,104	0.77
28	12,192	15,114	0.77
27	11,872	14,892	0.75
26	11,599	14,716	0.74
25	11,202	14,355	0.72
24	10,695	13,747	0.69
23	10,203	13,219	0.66
22	9,379	12,217	0.61
21	8,165	10,583	0.53
20	7,072	9,052	0.45
19	6,850	8,840	0.44
18	6,651	8,626	0.43
17	6,434	8,401	0.42
12	4,936	6,637	0.33
7	3,823	5,200	0.26
2	4,104	6,150	0.31
昭和60	5,479	9,873	0.51
55	5,977	11,860	0.64
50	6,421	12,095	0.69

2 65歳以上単独世帯割合と生活保護率の分布状況 (図1、図2)

平成29年度の65歳以上単独世帯割合（全世帯中に占める「65歳以上一人暮らし世帯」の割合）と平成29年度の生活保護率の関係を都道府県別にみると、大まかな傾向として65歳以上単独世帯割合が高い都道府県ほど、生活保護率も高くなる傾向が見られる。

本県は65歳以上単独世帯割合、生活保護率ともに低い状況である。

図1 生活保護率の推移

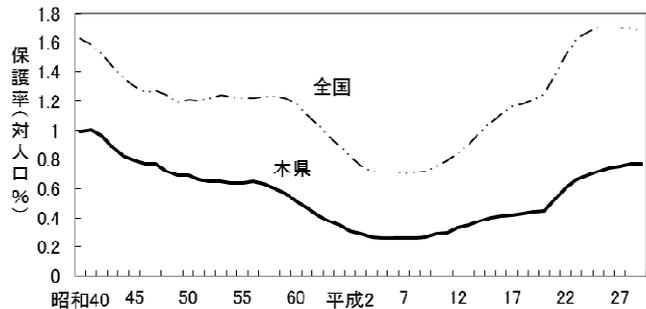


図2 65歳以上単独世帯割合と生活保護率の都道府県別分布状況

